

8月8日(土)発行

当日の感動を  
すぐお届け!!

ほぼ

# 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



## 北欧の風! 熱きコバケン、魂のタクト



マエストロ・小林研一郎さん  
ピアニスト・上原彩子さん

8/7 日本フィルハーモニー  
交響楽団

### お客様の声から♪

公開リハーサルでのコバケンさんの音作り、とても感動しながら拝見しました(42歳・大学教員・ミユキ)ノシベリウスは圧倒的でした。グリーグも冷たさと氷の熱を感じる様なピアノが素晴らしかったです。(グリ子)ノ日ごろ、シベリウスの7曲の中では一番退屈と嘯っていたのですが完敗です(アカシンゾウ)ノアンコールの「ユーモレスク」は病で時間も限られている私に人生を振り返り、これから「今」を輝かせていこうねと語りかけられていると感じる演奏でした。ありがとうございました(61歳・主婦・Tsunko)ノコバケンのコンサートはいつも胸がジーンとする。台から落ちないか心配しながら聴いています(主婦・オペラ大好きオバサン)

8月7日(金) 日本フィルハーモニー交響楽団 撮影：青柳聡

**連**日の猛暑とコントラストをなすかのように、この日のホールは別世界の涼やかな空気に包まれた。小林研一郎と日フィルによるグリーグ/シベリウス・プロはノルウェー・フィンランドという白夜の国の作曲家に光を当て、オーケストラは遥かなる国の海と山を思わせる透明度の高いハーモニーを奏でた。グリーグの『ピアノ協奏曲イ短調作品16』では上原彩子が堂々と落ち着いた導入部でこの演奏のクオリティを定め、デリケートな弱音を重ねて新鮮なソロを展開。このソロを大きく包み込むオーケストラ

の優しさに感動せずにはいられなかった。一楽章のモノローグではピアニストの深い内面告白も聴こえてきた。アダージョ楽章の優美さは譬えようもなく、フィナーレではマエストロに羽根が生え、そのまま空に飛んでいくようだった。

後半の『シベリウス交響曲第2番』でも、マエストロは飛翔していた。執拗な半音階の上昇が続くシベリウスの楽想はブルックナーの5番にも似て、不思議な主客の一体を感じさせる。セザンヌの風景画のように、自我が景色に溶け込んでいく感覚…という譬えは抽象

的だろうか。マエストロは暗譜で力強くオケを牽引し、第3楽章では凄まじい音の大伽藍が立ち現れた。各パートが次々にクレシェンドし、ホール全体が凄いい音圧に包まれたのである。アンコールはドヴォルザークの『ユーモレスク』。こちらはマエストロの前口上がうますぎて、あちこちからすすり泣きが聴こえてきたほどだった。

音楽ライター 小田島久恵

## 19歳の気鋭レビュアー拓やん、サマーミュージックを往く!

コラム



平岡拓也・大学生(19)

### 群雄割拠の首都圏オーケストラ~日々移り変わる音楽シーン~

昨日のコラムでは、首都圏における激動の音楽事情についてお伝えしました。首都圏オケの充実について、もう少し詳しく見てみましょう。近年の躍進が目に見える形で現れているのが、まず擁する指揮者陣の豪華さ。ノット×東響、インキネン×日フィル、P.ヤルヴィ×N響。大野和士×都響、本日登場の高関健×シティ・フィル、上岡敏之×新日フィルなど、日本の名匠

も首都圏オケと固い絆で結ばれつつあります。第二に、各オケが掲げる斬新なプログラムが挙げられます。欧米の好楽家が東京へ聴きに來るほどの発信力を備えるようになった今日の首都圏オケ。継続的に聴くことで、日本の一いや世界の音楽シーンすら手に取るように分かるかもしれません。

平岡さんのブログ「たくさん聴かな、あかんやん。」 <http://maestroinbal.blog.jp/>

# 長年の付き合い、86歳の巨匠、ベルナルト・ハイティンク&ロンドン交響楽団

150

9月30日(水) 19:00 開演



ベルナルト・ハイティンク



マレイ・ペライア



ロンドン交響楽団

ロンドン交響楽団は、優れた機能性とともなフレキシブルな音楽表現力を持つオーケストラである。ウィーン・フィルやベルリン・フィルのように際立って独自の響きと個性を追求するのではなく、練り上げられたアンサンブルを基調に、いかなる指揮者の要求にも柔軟に反応して多様な響きを作り上げる点に美質がある。実際、これまでも数々の名指揮者とともに数えきれないほど来日を重ねているが、常に指揮者の個性と解釈を高レベルで実現する演奏を聴かせてきた。筆者が思い出す来日公演でも、チェリビダッケの精妙な音響世界、アバドの知的かつ流麗な音楽性、ロストロポーヴィチの骨太な豪快ぶり、チョンの颯爽とした

直截さ、C・デイヴィスの格調の高い音楽作り、ゲルギエフ(現首席指揮者)の強靱な量感ある響き等々、それぞれの指揮者の求めるところが理想的に表現されていた。

今回の指揮者は巨匠ハイティンク。彼とロンドン響とは長年の付き合いで、とりわけ近年は共演機会が多く密な関係を築いている。実はこのコンビは2年前にも来日しており、その時のブルックナーの交響曲第9番の名演は語り草にもなっている。元々派手なところが一切なく、ひたすら作品の内なるものを真摯に表し出すタイプの彼は、年齢を重ねるにつれて表現に深みを増してきたが、作品の深遠さを自然な息遣いで表し出した前回のブルック

ナーはまさにそうした彼の熟成を示す感動的なものだった。もちろん彼の意図をくみ取ってそれを十全に具現化できるロンドン響がそれに与って力あったことは言うまでもない。今回はブルックナーの第7番だが、ミュゼのホール音響にとりわけ相応しいような、滋味に溢れる深く美しい芳醇な演奏になるのでないだろうか。さらに名手ペライアとの共演でモーツァルトが聴けるといってもたまたまらない。今日のピアノ界を代表する名手で、モーツァルトをとりわけ得意とするペライアだけに、極上の演奏をハイティンクとともに紡ぎ出してくれるだろう。

(文・寺西基之)

友の会会報誌「SPIRAL」Vol.45 より抜粋



パートナーショップのご紹介  
**エンジョイ!**  
**川崎!!**  
Enjoy Kawasaki

## バーラウンジ 夜間飛行 (川崎日航ホテル 7F)

総合プログラムP.92、パートナーショップガイドP.9

- ミカコ) 1年半振りね。この前イタリアから帰国したときだから。
- シュン) ベルリン・フィルのミュゼ公演以来だね。サイモン・ラトルがミュゼの音響を絶賛していたよね。これだけの音響をもつホールはイタリアにもないからね。
- ミ) 今夜はゆっくりできるの?
- シ) あすパリ経由でフィレンツェに戻るようになった。
- ミ) 今度会えるのは、来年のサマーミュージックかしら。
- シ) 夜間飛行がある限り戻ってくるさあ。ここは君とぼくの原点だからね。マスター!いつものカクテル、彼女につくってあげて。

夏の夜空を眺めながら、ふたりの話はジェットストリームのようにいつまでも続いた。大人の落ち着いたラウンジ、夏ぴったりのカクテルも楽しめます。(達)



「マティニ」と「青い珊瑚礁」

サマーミュージック特典  
飲食代 10%OFF

## NEXT!!

フェスタサマーミュージック 文・オヤマダアツシ

8月9日(日) 15:00 開演

東京交響楽団フィナーレコンサート

指揮: 秋山和慶  
ソプラノ: 天羽 明恵  
メゾ・ソプラノ: 竹本節子  
合唱: 東響コーラス

おかげさまで  
完売いたしました!

マーラー: 交響曲第2番 ハ短調「復活」



秋山和慶 天羽明恵 竹本節子

ききどころ

交響曲とは偉人の伝記映画を思わせるドラマ。そんな言葉も思い浮かぶほど濃厚な感動を与えてくれるのが、マーラー作曲の「復活」交響曲だ。ハ短調の葬送曲で幕を開ける前半3楽章はオーケストラによる演奏。後半2つの楽章には声楽が加わり、特に第5楽章の後半は合唱が「最後の審判」を前に、復活、浄化、真の幸福を感動的に歌い上げていく。「クラシックを聴いて深く深く感動したい」という方は、すべてを忘れてこのコンサートへ。ミュゼの広い空間が神秘と祝祭の場になる時間を、体験して欲しい。

S: 6,000円 A: 4,000円 B: 3,000円  
学生券 (25歳以下) 各席半額 **完売**

### 友の会キャンペーン実施中

サマーミュージック期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマーミュージックオリジナルチケットホルダーをプレゼント! (~8月9日まで)  
年会費3,000円でお得な6つの特典♪

友の会会員カード提示で はじまりました!  
ミュゼ川崎駐車場  
1時間無料サービス



詳しくは友の会入会カウンター(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで



ホール内  
ショップで発売中

●サマーミュージック  
チケットホルダー  
640円(税込)

チケットだけでなくA4チラシ  
三つ折も入ります。便利!

当日の感動をすぐお届け!!

毎日  
Hobo Nikkan Summer Muza  
7/11



症にはご注意ください!  
貸館担当

スタ  
ツ  
ッ  
フ  
日  
誌